

新除草・調節剤

クサトリール粒剤 4.5

シメトリン・クレダジン除草剤

(取扱メーカー)三 共 株 式 会 社

北 海 三 共 株 式 会 社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は、2-メチルチオール4-6-ビス-エチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン)2.5%と、3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン(クレダジン)2%を主成分とする混合粒剤である。

シメトリンは、殺草草種の幅が広く、処理適期の幅の広い、根部および莖葉吸収移行型の雑草兼土壌処理剤であるが、寒地のマツバイ・ノビエの多発地帯では効力が不十分になる場合がある。クレダジンは、これらの草種に低温時処理でも効果が高い、非ホルモン型、根部吸収移行型、雑草発生始期～盛期処理剤である。

本剤は、以上の2薬剤の配合で、寒地の1年生雑草およびマツバイの多発地帯に適した、処理適期幅の広い雑草兼土壌処理剤である。EPN, NACなど殺虫剤の近接散布による薬害の心配はない。人畜魚毒性は低い。

使用方法：移植水稻の苗が十分に活着した後、ノビエの2.5葉期まで(田植後7～15日)に10アール当り製品3Kgを均一散布する。東北地方で2～3葉期のノビエが多い場合は4Kg使用する。湛水状態で使用し、数日間落水しないようにする。適用土壌は壤土～埴土で、一日の減水深1.5cm以下のところで使用する。

寒地以外では、使用しないこと。漏水の大きい水田、苗の活着不良、小苗の場合は使用をさ

ける。

クサキラーグリーン粒剤 7.7

CNP・クレダジン除草剤

(取扱メーカー)三 共 株 式 会 社

北 海 三 共 株 式 会 社

九 州 三 共 株 式 会 社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は、2-4-6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル(CNP)6%と、3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン(クレダジン)1.7%を主成分とする混合粒剤である。

CNPはよく知られている通り、接触作用のある、非ホルモン型移行型土壌処理剤で、雑草の発生前から発生始期の処理で効果が高いが、マツバイとコナギに効力が劣る。クレダジンは、非ホルモン型根部吸収移行型で雑草の発生始期から発生盛期処理で最も高い活性を示し、マツバイ、1年生のカヤツリグサ科およびイネ科雑草に効果が高く、コナギなど数種の広葉雑草にも効果がある。

本剤は、以上の2薬剤の配合であり、マツバイ多発地帯に適した、田植活着後に使用する初期除草剤である。また、温度条件による効力差は小さく、人畜魚毒性は低い。

水稻に対する薬害は、腐植が少なく漏水の大きい水田や、小苗を移植した水田の場合に発生する。

使用方法：移植水稻の活着後(田植後4～8日)に10アール当り製品3Kgを均一散布する。湛水状態で使用し、数日間落水しないようにす

新除草・調節剤

る。適用土壌は壤土～埴土で、1日の減水深

1.5 cm以下のところで使用する。

漏水の大きい水田では、使用をさける。早期、早植えなど生育抑制の心配がある場合は、中耕後に使用する。

P H D 粒 剤

(取扱メーカー)大日本インキ化学工業株式会社

北興化学工業株式会社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は、4,5,7-トリクロルベンズチアシアゾール-2,1,3 (PH 40-21) 6.3%と、2-メチル-4-クロルフェノキシアセトヒドラジド (CPH) 1.0%を含む粒剤である。

本剤は、根部吸収によって殺草力をあらわし、イネ科雑草に効果の高いPH 40-21に、広葉雑草マツバイ等に効果の高いCPHを配合したものである。

人畜毒性は低く、安全に使用できる。急性経口毒性は、PH 40-21：ラットLD50

1,500 mg/Kg以上、CPH：マウス520 mg/Kg、魚毒性はPH 40-21：ヒメダカ48時間TLM 5 ppm以上、CPH：コイ48時間TLM 4.3 ppm以上である。

使用方法：今回実用化が認められたのは、移植後土壌処理である。使用時期は、普通期の移植後4～10日で10アール当たり3Kgを処理する。適用土壌は、減水深0.5 cm/日以下の埴土～埴土である。

使用上の注意：DBNに準ずる。

[D I C] M P 粒 剤

D I C - 4 1 0 3 粒 剤

(取扱メーカー)大日本インキ化学工業株式会社

テイツク農薬株式会社

対象作物：水 稻

性状・作用特性：本剤の主成分は、ペンタクロルフェノールナトリウム1水化物 (PCP-Na) 20%と、2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸ヒドラジド (CPH) 1.2%の混合粒剤である。

PCP-Na, CPHともにその作用はすでによく知られているように、前者はノビエ、カヤツリグサ等水田初期雑草に有効な接触除草剤であり、後者はマツバイなどの多年生雑草やコナギなど広葉雑草およびある程度生育の進んだ幼少雑草に対し、根・莖葉から吸収され、殺草効果を示すホルモン型移行型除草剤である。

本剤は、この両者を配合することにより、母剤であるPCP-Naのマツバイ殺草力の小さい点と効力の持続性の短い点を改善したもので、水田の初期～中期にわたるよう使用適期幅も広がっている。効力持続期間もPCP-Na単剤の2倍程度長く期待できる。

使用方法：普通期および早期栽培の移植後4～8日および中耕後湛水土壌処理剤として、10アール当たり製品3～4Kgを均一に散布する。

魚貝類に対する使用上の注意は、PCP-Naに準じ、PCPの使用制限措置がとられている地帯ではその使用条件にしたがう。

適用土壌は埴土～埴土で、極端な漏水田、冷